

静岡県富士山世界遺産センター

学校向け観覧案内

《2026年度詳細版》

1 静岡県富士山世界遺産センター利用の御案内 資料 1

(1) 団体観覧（学校）の概要

(2) 申し込みから来館まで

(3) 観覧方法

(4) 団体に応じた観覧モデル

2 富士山世界文化遺産出前講座・・・・・・・・・・ 資料 2



静岡県富士山世界遺産センター

静岡県富士山世界遺産センター利用の御案内

(1) 団体観覧(学校)の概要

- ・ 対 象 … 保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学・専門学校 等の学校団体
- ・ 観 覧 料 … 未就学児童、小学生～大学生 等は「無料」となります。

引率者は減免の承認を受けることにより、入館料は「全額免除」となります。

※減免申請手順: ①【教育旅行団体⇒静岡県富士山世界遺産センター(以下「センター」)】
予約システムに必要事項を入力し、予約を完了していただきます。

(※同時に「減免の申請」となります。)

②【センター⇒教育旅行団体】「減免の申請書」を審査し、承認した場合は「減免申請承認書」を発送します。

(2) 申し込みから来館まで

	STEP1	STEP2	STEP3
学校	予約システム入力 (減免申請含む) ※来館の5日前まで	システム登録時のメールアドレスに確認 メールが届く【予約完了】	来館 年齢等確認書提出(受付)
センター		申込の確認 ※減免申請受理・審査・承認:承認書発送	

- 事前打合せ、下見等の希望があれば、予約システム画面に希望する旨を入力してください。申し込み確認後、センタースタッフから連絡します。(※事前打合せ、下見は必須ではありませんが、教育普及スタッフと現場で打合せながら、展示内容等の確認をすることをお勧めします。)
- 変更・取消がある場合: 来館の5日前までは予約システムに変更・取消を入力してください。4日前から当日までは直接センターへ電話にてご連絡ください。

(3) 観覧方法

名 称	内 容
観覧ガイド	□世界遺産センターの施設紹介、グループの順路説明や諸注意等を教育普及スタッフが水盤前やアトリウムで行います。
自由観覧	□富士登山疑似体験や、富士山の成り立ち・信仰・芸術・動植物・保全・環境などの展示を通して、世界文化遺産「富士山」について学んでいただけます。 □スマートフォンやタブレット等(貸し出しはありません)で、インターネット(無料 wifi 環境整備)による音声ガイドがご利用いただけます。
クイズシート	主に小学校対象: 見どころや展示の要点をクイズシートで確認しながら、館内に設置されている「ひらがな」を探します。富士山について、様々な視点で学ぶことができます。 ※クイズシートはHPで内容を確認の上、予約システムに必要枚数をご入力ください。
ワークシート	主に中学校・高校対象: 展示の中に答えのある問題を解きながら、各展示のポイントをより詳細に把握することができます。富士山の文化的な価値を深く学ぶことができます。 ※ワークシートはHPで内容を確認の上、予約システムに必要枚数をご入力ください。
映像シアター (定員 72 名)	□3番組をローテーションで1時間に4回上映 <天(天)の巻: 毎時 00 分> 富士山の四季の変化を追った空撮映像 <宙(宙)の巻: 毎時 15・45 分> 富士山を“竜の目”で眺めたダイナミックな映像 <地(地)の巻: 毎時 30 分> 海拔0m～頂上まで現代の登拝の姿を追った映像 ※映像シアター視聴のタイミングは、教育普及スタッフにご相談ください。 ※当日の利用団体数や団体人数によっては、観覧行程内で映像シアター視聴ができない場合があります。

(4) 団体に応じた観覧モデル

モデル1 団体人数 72 名まで(所要時間:1 時間から 1 時間半程度)

①到着	②観覧ガイダンス(5分)	③入館	④富士登山疑似体験(10分)
【外(水盤前)】 ➢記念撮影等	【外(雨天時:アトリウム)】 ➢「世界文化遺産富士山について」 や展示、館内の説明	【エントランス】	【スロープ】 ➢1F から5F まで、壁面に投影される登山道の映像を見ながら、らせんスロープを登る「富士登山の疑似体験」
⑤5F 展望ホール(5分)	⑥自由観覧(25~30 分)	⑦映像シアター(10 分)	⑧退館
【展望ホール】 ➢富士山頂から富士山麓を一望 (*水分補給可)	【各展示エリア】 ➢富士山世界文化遺産などにかかわる展示を自由観覧 ➢クイズシート、ワークシートの実施	【2F 映像シアター】 ➢4K シアターで美しい富士山映像を	【ショップ】 ➢ショップの利用

モデル2 団体人数 73 名以上(所要時間:1 時間から 1 時間半程度)

複数グループ(2グループ以上)に分け、入館後の導線を分けてご案内いたします。

入館まではモデル1と共通。その後の順路がグループで異なります。

グループ1 (シアター最後)	①登山疑似体験	②5F 展望ホール	③自由観覧	④映像シアター	⑤退館
グループ2 (シアター最初)	①映像シアター	②登山疑似体験	③5F 展望ホール	④自由観覧	⑤退館

モデル3 団体人数 145 名以上(所要時間:2時間から3時間程度)

人数に応じて複数グループに分かれての来館をお勧めしております。

富士山本宮浅間大社(徒歩圏内)を見学場所に追加することで、富士山学習の充実を。

グループ A	静岡県富士山世界遺産センター ⇒ 富士山本宮浅間大社
グループ B	富士山本宮浅間大社 ⇒ 静岡県富士山世界遺産センター

※富士山本宮浅間大社では、富士宮市観光協会の観光ガイドボランティアが対応可能です(有料)。

(お願い)引率の先生方へ

- センターには、昼食をとるスペースはございません。
- 館内では、展示物の保護・湿度管理等のため、次に挙げる行動や物品の持込が禁止されております。事前に児童・生徒の皆さんへの御指導をお願いいたします。
 - ① 鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具(ボールペン・マジック等)の使用は禁止です。
 - ② 5F展望ホール・1階アトリウム以外での水分補給は禁止です。
 - ③ 傘や濡れたものの持込は禁止です。
- 各種シートの実施、観覧メモなどを記入する際にはバインダー等をご準備ください。

< 問合せ先 > … 静岡県富士山世界遺産センター 企画総務課 教育普及担当
電話番号 0544-21-3776 FAX 0544-23-6800

富士山世界文化遺産出前講座

静岡県富士山世界遺産センターの研究者や教育普及スタッフが、世界文化遺産「富士山」の後世継承を目的として、基礎知識から専門分野まで、わかりやすく解説します。

※ 講師料や交通費等の費用は無料です。(県内での実施に限る)

<活用例>

- ・静岡県富士山世界遺産センター来館の事前学習
- ・総合的な学習の時間(富士山学習、地域研究等)
- ・世界文化遺産富士山を学ぶ講話・講座
- ・課外活動(校外学習、部活動等) ※朝霧野外活動センター等、外部施設へも出張します。
- ・各種研修(教職員に対する研修も行います。)

<注意事項>

- (1) おおむね 10 名以上の団体を対象とします。ただし、営利目的や政治活動、その他本事業の趣旨に適さないと認められる場合、出前講座の対象となりません。
- (2) 実施日時は、10:00～16:00 を原則としています。なお、センターの業務や講師の都合によって御希望に添えない場合もあります。
- (3) 連続講座(同じ受講者様に対して複数回の講座を実施)には対応しておりません。

<申し込み方法> … 申込用紙に必要事項を御記入の上、FAX 又はメールにてお申込ください。

<問合せ先> … 静岡県富士山世界遺産センター 企画総務課 出前講座担当

電話番号 0544-21-3776 FAX 番号 0544-23-6800 メールアドレス mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp

【富士山入門】

分野(担当)	進行方法	タイトル(目的・内容等)	対象
教育普及 スタッフ	講義	1. <u>世界遺産の富士山を学ぼう</u> 世界遺産「富士山」の文化的な価値について、わかやすく解説します。	小学校・ 中学校・高校・ 特別支援学校

【専門講座】

分野(担当)	進行方法	タイトル(目的・内容等)	対象
文化・ 芸術 (美術) (松島教授)	講義	1. <u>富士山と源氏物語—“古典”の政治学</u> 日本文化のなかで規範的な地位を築いてきた富士山と『源氏物語』。本講座では江戸城障壁画を媒介としながら、その政治的、文化的な相関関係をひもといていきます。	大学・一般 源氏物語の基礎的 な知識が必要です。
	講義	2. <u>日本の美と心 —富士山</u> 富士山絵画一千年の歴史をたどりながら、「芸術の源泉」としての文化的な意義について考えます。	中学校・高校・ 大学・一般
	講義	3. <u>徳川将軍と富士山</u> 徳川将軍と富士山をめぐる政治的・文化的関係について、富士山絵画や関連史料を参照しつつ解説します。	大学・一般
	講義	4. <u>海を越えた富士山—外国に遣わされた絵画と工芸</u> 近世・近代に日本から外国にもたらされた富士山をかたどった美術・工芸品を紹介し、その背後にある知られざる“歴史秘話”をひもときます。	中学校・高校・ 大学・一般
火山・ 地質・ 防災 (小林教授)	講義	1. <u>静岡県の活火山を比較してみよう</u> 静岡県の大地の成り立ちのほか、県内の3つの活火山を比較しながら、富士山の特徴を解説します。	小学校・中学校・ 高校・一般
	講義	2. <u>富士山の噴火史と火山防災(ハザードマップの読み方)</u> 火山災害とは何か？また、富士山の噴火史の特徴、ハザードマップの読み方について解説します。	中学校・高校・ 一般
	講義 もしくは 現地講座	3. <u>富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形と地層から読み解く</u> 【講義】富士山の噴火によって作られた地形の成り立ちを様々な教材を用いて解説します。 【現地講座】火山の地形の拡がりを実地で感じ、本物の噴出物(火山灰や溶岩)に触れることで生きている富士山を解説します。 <u>講座開催場所</u> (例) ※場所によっては実施時期が限られます。 ① 富士山の斜面に開いた大小の火口：富士宮口五合目—宝永火口 ② 宝永噴火が残した地形と噴出物：水ヶ塚駐車場—御殿場口五合目 ③ 富士山西麓を流れ下った溶岩流：陣馬・白糸の滝、猫沢—釜口峡注) 現地集合・現地解散です。開催場所によっては駐車スペースに限りがあるため、極力乗り合いで参加ください。また、受講者の傷害保険への加入が必須となります。	一般 (20名まで)
	講義	4. <u>富士山が与えてくれる恵みについて—湧水・地下水</u> 富士山の湧水や地下水の特徴とそのメカニズムについて、最新の科学的知見と独自の観測分析データをもとに解説します。	高校・一般

歴史 (信仰) (大高教授)	講義	1. 富士山信仰を歴史から学ぶ 原始・古代から中世、近世、近代にかけて移り変わる時代の中で、富士山への信仰を遙拝（ようはい）・登拝（とはい）・巡拝（じゅんぱい）・近代登山といった流れから学んでいきます。	小学校(高学年)・ 中学校・高校・ 一般
	講義	2. 富士山参詣曼荼羅(さんけいまんだら)の絵解き(えとき) 室町時代の人々の信仰登山の様子を描いた宗教画「富士曼荼羅図」を絵解き解説します。	中学校・高校・ 一般
	講義	3. 富士山の縁起(えんぎ)を知る～赫夜姫(かぐやひめ) 富士山の昔話や伝承をまとめた縁起(えんぎ)と呼ばれる古記録では、富士山の神様は赫夜姫とされていた時代がありました。富士山の縁起に記される神話の世界を紐解きます。	中学校・高校・ 一般
	講義	4. 富士山の「合目」標記の変遷 富士山の各登山道には「○合目」という「合目」標記がありますが、各登山道によって標高も違い、同じ登山道でも時期によって変遷が見られます。複雑な「合目」標記を解説します。	高校・一般
民俗 (井上准教授)	講義	1. 富士山のふもとで生きる 富士山麓で見られる多様な生業や産業から、人々の暮らしと富士山との関わりについて解説します。	小学校(高学年)・ 中学校・高校・ 一般
	講義	2. 頂に挑む～登山案内図や登山記にみる富士登山 江戸時代から昭和初期にかけての富士登山について、当時の登山記や登山案内図からご紹介します。	中学校・高校・ 一般
	講義	3. 富士山の御札(おふだ) 富士山の周辺の宗教施設で刷られた御札(おふだ)類から、富士山に対する人々の多様な願いの姿を探ります。	高校・一般
	講義 (実習)	4. 日本の象徴－富士山 明治時代から現代にかけて発行・製作された絵はがきや写真、鳥瞰図、引札といった視覚的な媒体から、日本の象徴となった富士山の姿を解説します。	中学校・高校・ 一般
文学 (青木准教授)	講義	1. 絵とともに楽しむかぐや姫の物語と富士山 江戸時代に作られた竹取物語絵を見比べながらストーリーをたどることで、物語の内容や捉え方の違いについて理解を深めます。	小学校・中学校
	講義	2. 『竹取物語』と儀式の場としての富士山 『竹取物語』の結末では、富士山でかぐや姫の手紙と不死の薬を焼く場面が語られます。この場面を帝による国家祭祀の儀礼として捉え、物語で語られる意味を解説します。	高校・大学・ 一般
	講義	3. 『竹取物語』と富士山のかぐや姫伝承 『竹取物語』と富士山周辺に伝わるかぐや姫伝承には、富士山のエピソードに大きな違いがあります。物語と伝承を読み比べ、人々がなぜ異なる話を求めたのかについて考えます。	中学校・高校・ 大学・一般
	講義	4. 『伊勢物語』の旅と富士山 『伊勢物語』の主人公在原業平は東国に下る途中、富士山を目にします。この業平の旅を物語と絵から読み解きます。	中学校・高校・ 大学・一般

静岡県富士山世界遺産センター 出前講座担当 行

メール mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp FAX 0544-23-6800

富士山世界文化遺産出前講座 申込用紙

団体名・学校名			
所在地	〒 ー		
連絡先	電話番号 (FAX番号)	()	
	メールアドレス	(資料の印刷をお願いする場合があります)	
フリガナ 御担当者氏名			
希望日時 ※希望順に御記入ください	令和 年 月 日() 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分(分)		
	令和 年 月 日() 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分(分)		
	令和 年 月 日() 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分(分)		
会場 (団体・学校の所在地と同じ 場合は記入不要)	名称		
	所在地		
講座の対象者		人数	人
会場の状況	種別	教室 / 体育館 / その他()	
	付属品	・暗幕 有 / 無 ・スクリーン 有 / 無 ・パソコン 有 / 無 ・パワーポイント 有 / 無 ・ケーブル(RGB(VGA) / HDMI / typeC) 有 / 無 ・プロジェクター(大型モニター) 有 / 無	
講座内容	・利用の手引きに記載されているタイトル ・特に希望する項目がありましたら、以下に御記入下さい。		
センター来館予定	有 (月 日) ・ 無 ・ 検討中		

送付票は不要です。この申込用紙のみ FAX して下さい。